

令和5年
菊川市こども議会

令和5年8月18日（金）

菊川市こども議員名簿

	学校名	氏名	題名	グループ
1	小笠北小学校	いしがみ けんた 石上 健太	公園の遊具に関する提案	A
2	小笠北小学校	たかはた ももか 高畑 百花	安心できるステキなまち 菊川	
3	六郷小学校	やぎ いつき 八木 一樹	茶産出額を増やすために提案	
4	小笠北小学校	なまずえ あすか 鯨江 明日香	菊川市の魅力にしよう 交通安全対策	B
5	六郷小学校	ないとう れん 内藤 廉	ハイテクのまちにしたい	
6	小笠北小学校	やぎ なつき 八木 夏希	菊川市の誕生	
7	加茂小学校	ゆあさ りく 湯浅 陸	自然をみんなが楽しめる公園づくり	C
8	小笠北小学校	なかむら けんしん 中村 健伸	耕作放棄地をなくして環境の良い菊川市へ	
9	六郷小学校	ほその ののか 細野 希乃花	ゴミのポイすてをなくすために	
10	六郷小学校	ほりかわ さや 堀川 紗矢	お茶のイベントをふやすと・・・	D
11	菊川東中学校	もりた ほまれ 森田 穂希	菊川茶で菊川市を有名に	

こども議長

グループ名	こども議長名	小学校名	備考
Aグループ	たかはた ももか 高畑 百花	小笠北小学校	Bグループ発表時の進行を行う
Bグループ	ないとう れん 内藤 廉	六郷小学校	Cグループ発表時の進行を行う
Cグループ	なかむら けんしん 中村 健伸	小笠北小学校	Dグループ発表時の進行を行う
Dグループ	もりた ほまれ 森田 穂希	菊川東中学校	Aグループ発表時の進行を行う

公園の遊具に関する提案

小笠北小学校 6年 石上健太

今から、公園の遊具に関する提案をさせていただきます。

まずは、提案内容について

公園の中で遊具のない公園に複合遊具を作ったり、クライミング遊具のある公園をつくるべきだと思いました。複合遊具とは、滑り台やジャングルジム、登り棒など複数の遊具が一つにまとまった遊具のことです。

次に提案の背景について

私が公園に行って遊ぼうと思った時、近くに複合遊具のある公園の数が菊川市には少ないので、掛川の公園に行くことが多いです。掛川の公園の方が大きい複合遊具や楽しめる公園の数が多いです。実際に都市計画課に聞き取りをして、菊川公園地図を作りました。この地図の中で複合遊具のある公園は6ヶ所しかありません。また、アスレチックの話も聞き、アスレチックは、昔はあったけど劣化してなくなったそうです。

次に提案理由について

私や他の子ども達が公園に行って遊ぼうとしても、近くに複合遊具のある公園が少ないので、掛川の公園に行くことが多いです。なので、掛川に行かなくていいようにこの提案をしました。また、複合遊具が少ないと、子どもがコロナもあり外へ出なくなり、体力が低下していくからです。複合遊具やクライミング遊具の公園がたくさんあると、外へ出る子供が多くなり、菊川市がにぎやかになるからです。

次に具体的な設置場所と遊具の費用について

都市計画課でいただいた遊具カタログをもとに提案します。セントラルパークに菊川で一番大きい菊川運動公園の複合遊具より、さらに大きい複合遊具をつくるべきだと思います。この複合遊具の費用は、約1400万円です。次にクライミング遊具をつくるべきだと思います。この遊具の費用は、約150万円です。次にトランポリンのような遊具をつけるべきだと思います。この遊具の費用は、約50万円です。

セントラルパークは、広くて人がたくさんくる場所なので、遊具があった方がいいと思いました。セントラルパークは、とても広いので、菊川市で一番大きい遊具よりもさらに大きい遊具があれば、菊川市以外の市や県からくる人も多くなると思ったので、お金がかかっても作るべきだと思いました。

次に尾花運動公園にセントラルパークより安い複合遊具を作るべきだと思います。この複合遊具の費用は、約350万円です。次に4連ブランコと2連幼児用ブランコをつくるべきだと思います。4連ブランコの費用は、約50万円で、2連幼児用ブランコは、約40万円です。

尾花運動公園は、運動公園なので遊具が一つもないのは、おかしいと思ったのでちょうどいい大きさの遊具を作るべきだと思いました。小さい子でも遊べるように、幼児用ブランコがある方がいいので、幼児用ブランコを作るべきだと思いました。

最後にこの提案が実現した時の効果について

複合遊具やクライミング遊具のある公園を増やすと、子供の運動能力が高くなったり、基礎体力がつきます。菊川で一番大きい遊具よりもさらに大きい遊具を作ると、たくさんの方が集まって、普段、外へ出ない子どもなどがその遊具で遊んでくれるかもしれないし、そうすれば子どもの面倒を見る時間が減るので、親の方が少し楽になると思います。菊川市で一番大きい遊具よりもさらに大きい遊具があれば、違う市や県に行く必要がないので、親の方が公園に行くための運転時間が減ります。なので、菊川市にも大きい複合遊具やアスレチックの公園をつくるべきだと思いました。

安心できるステキなまち 菊川

小笠北小学校 6年 高畑百花

私は、菊川を魅力ある素敵なまちにしたいです。菊川の魅力がすごく伝わるものは・・・「観光」です。

そこで、菊川に観光に来る人の人数を調べてみたら、28万人くらいで、静岡県内で下から2、3番目でした。

菊川に観光地が少ないのも理由に入るけど、考えてみたら「治安」も関係してそうだと思います。警察署に行って、犯罪が菊川でどのくらい起きているのか調べてみると、「万引き」、「自転車盗」、「車上荒らし」が多いことがわかりました。なので、私は犯罪が少なくなって、市外の人も安心して菊川の観光に来てもらうため、2つのことを提案します。

1つ目は、万引き防止のため、スーパーなどの店に監視カメラを設置することです。防犯カメラがあると万引きしようとする悪い人もしにくくなって、万引きが減ると思います。なので、お店のいろんなところに置いて、どこでも万引きできない状態にしたら万引きが「ゼロ」になるのもないことはないと思います。菊川の万引きの件数は、25件でしたが、防犯カメラを出来るだけ多く設置することで、25件だったのも10件くらいには減ると思います。

2つ目は、自転車盗、車上荒らし防止のため、静岡市にある「エキパ」という駐車場のようものを菊川にも作ることです。みなさんは「エキパ」を知っていますか？エキパは普通の駐車場とは違って、そこに車を置くと、車を別のところに個別に閉じ込める、ちょっと特殊な駐車場です。なので、そこに駐車すると、そこから車を荒らしたり、中のものを取ったり、がんばっても出来ないの、完全に犯罪を防げます。そうすれば、格段に、車への犯罪は減ると思います。

このように、監視カメラの設置や、「エキパ」のような駐車場を作ることによって、菊川で特に多い「万引き」、「自転車盗」、「車上荒らし」が減り、菊川は、安全安心なまちになると思います。そうなることで、市外の人も菊川は安心して観光に行けるとあって、観光客が増えると思います。

新しい観光地を作るのは、時間がかかるし、大変です。でも、犯罪を防ぐ対策などはできるし、治安は観光客にとっても気になる場所です。なので、まずは犯罪を減らすところからやってみると観光客も少しずつ増えてくるのではないのでしょうか。

私は、市民ももちろん、観光客も安心してこられるような、魅力ある素敵なまちにしたいです。

これで終わります。

茶産出額を増やすために提案

六郷小学校 6年 八木一樹

スマート農業のメリットを今の就業世代や、お年寄りの茶農家に伝える。スマート農業導入補助金を設置する。

提案理由

茶産出額を増やすためには、生産者を増やさないといけないのですが、昭和60年の茶生産者と比較すると、昭和60年は3556戸で、現在は927戸です。ここから生産者をふやしていかなければならないのです。そのためには、今の就業世代に茶農家になってもらうしかないのですが、今の就業世代は、農業で土を触ったり、畑に行くことをいやがるひとがほとんどです。

しかし、現在、家から見守るだけで農業ができる「スマート農業」があります。それらをパンフレットやYouTubeなどで周知することが大切だと思います。でも、これらを導入するには、たくさんの費用がかかります。

この費用を、農家のみで支払うのは無理に等しいです。しかし、スマート農業でなければ、今の就業世代に茶農家になってもらうのは難しいです。なぜなら、今の就業世代は畑で作業することをいやがるからです。

今の就業世代に茶農家になってもらうには、何回も言っていますが、スマート農業を伝え、導入を手助けする必要があります。手助けのひとつとして、補助金を出すことが必要だと思います。

また、お年寄りの茶農家は、畑作業がやりにくいです。そのときに、スマート農業があれば、家でも農業ができます。

しかし、この場合では、スマート農業のメリットをしっかりと伝えなければいけません。そのため、研修会の開催のみでなく、字の大きいパンフレットや広報きくがわなどで周知することが大切だと思います。

その効果

補助金を出すことにより、スマート農業の導入がやりやすくなり、産出額も増えます。結果的には耕作放棄地も減少させることができます。だから、補助金などを設けて導入をやりやすくした方がいいと僕は思います。

市長は将来の農業に投資する考えはおありでしょうか？

菊川市の魅力にしよう 交通安全対策

小笠北小学校 6年 鯉江明日香

私は「交通事故の少ない市」を魅力にしたいです。

提案のきっかけは、家の近くの道路です。私の家の近くはせまい道が多いのですが、住民がよく利用しています。さらに、交通量が多い道では、白線が消えかけていました。調べてみると、事故が多い浜松市では朝夕の通勤時のじゅうたいで、安全確認不足の事故が多発しています。同じように、菊川市でも加茂地区にあるオートバックスの交差点も通勤時に利用する人が多いので、交通事故がおきやすいです。他にも、だるまや近くの交差点では、県道 31 号を北進する時に左からくる車が見えづらいです。小笠北小学校の近くの西みねだの交差点は、通学路にもかかわらず人身事故がおきています。私はこのような事故を減らすために 5 つの対策を考えました。

1 つ目は白線をひくことです。白線を引くことで、走る所がしっかり分かり、自損事故が減ると思いました。

2 つ目は、ガードレールをつけることです。特に大通りは交通量が多いので、ガードレールをつけると、歩行者と車両との事故が減ると思いました。

3 つ目は、カーブミラーをつけることです。菊川市の事故では、Y 字路の合流地点の事故が多いです。カーブミラーをつけることで、車が見えづらい道も見えると思いました。

4 つ目は信号の工夫です。^{しがけん や すし}滋賀県野州市では、交差点でスピードをおとすために、赤信号を表示し、近づくと矢印が全ての方向を指しています。^{おおいけ}掛川市の大池インターチェンジ交差点の信号は、青信号だけギリギリまで見えなくなっています。このような工夫した信号を菊川市に設置することで、今多発している交差点の事故を防げると思いました。

5 つ目は、かん板を立てることです。スピードをおとす所や、急カーブなどにイラストつきのかん板を立てることで、イラストがついているので見ただけですぐ分かり、運転者の人が気をつけられると思いました。

私は、5 つ目の対策でイラストのかん板を立てるときは、市内の小中学生を中心に、高齢者で運転をしている人や、最近運転を始めた人達にかいてもらいたいと思いました。運転をしていない小中学生を中心にするので、交通事故のこわさを知り、自動車に乗るときや、歩道を歩くとき、大きくなって車を運転するときに気をつけられると思いました。また、市内の人どうしで、コミュニケーションがとれて良いと思ったので提案しました。

私はこの活動で、菊川市がより安全で明るい市になってほしいと思いました。また、菊川市の魅力として「安全で交通事故の少ない市」としていろいろな人にしてもらい、菊川市の魅力にしたいです。

ハイテクのまちにしたい

六郷小学校 5年 内藤 廉

ぼくは、今回工業について調べました。なぜなら街中に「ハイテクのまち」と書かれた地図があり、それを見て「本当にハイテクのまちなのか？」と、なやんでいたからです。そこで、市の面積が同じくらいの伊豆の国市と、湖西市と比べてみました。

ぼくは、市の面積が同じくらいなので、工場数が同じくらいだと予想していました。ところが、菊川市の第二次産業事業所数は 522 で、伊豆の国市は 449、湖西市は 587 でした。

こんなにちがう理由は、1つ目は、伊豆の国市は、山地が多い地形でデコボコだから、工場が作りにくいのです。それに比べて菊川市は、平地が多く、工場が作りやすい地形です。

2つ目は、菊川市は、伊豆の国市に比べて交通の便がいいです。工場で作ったものや材料となる部品は、トラックで運ばれます。そのときに高速道路を使うので、高速道路の通っている菊川市は便利です。

3つ目は、菊川市と伊豆の国市と比べて、菊川市は第二次産業人口が 10,562 人いて、伊豆の国市は 5,614 人と、菊川市の方が工場働く人が倍近くいます。その理由は、菊川市と伊豆の国市では、主な産業がちがうからです。菊川市は製ぞう業が多くて、伊豆の国市はホテル業が多いです。

以上をふまえて、ぼくは菊川市がとても便利で、工場が多いので、テクノロジーが進歩していると思います。ぼくは、工業の発展を持続させて大人になったときに、テクノロジーが格段に進歩している菊川市にしたいです。

なので、ぼくは、工場をまちなかに建てることや、建設会社もたくさんつくり、菊川市が大かつやくできるようにしたいです。駅の近くにビルや、大きいマンションも建て、菊川市に住む人をふやしていきたいです。

そして、店などをふやし、今より菊川市がにぎわうようにしたいです。

また、ロボットを使ったり、売ったりする企業を増やし、菊川市の将来を、住人がとても多くて、店も多く、ロボットを使える会社や科学の研究所を増やしていきたいです。

住人が安心して、だれにとってもやさしいくらしができるようにするために、スーパーやショッピングモールなどを建てて、家具や食べ物などを売って、すごくにぎわっている市にしたいです。

菊川市の誕生

小笠北小学校 5年 八木夏希

菊川市は、2005年、平成17年1月に菊川町と小笠町が合併して誕生しました。

提案理由は、そもそも菊川市はなぜ誕生したのか、ぎ問に思ったからです。

合併した理由は、いくつかあります。

1つ目は、元々2つの町はとなり同士で仲が良かったこと。

2つ目は、公共しせつの充実を図るためです。公共しせつの充実の中には、小笠全地区^{おがきぜんちく}へ地区センターが開設されたことや、学校の体育館が新しくなったことなどがあります。

他にも、行政サービスの向上や職員数を削減して経費^{けいひ}の節約ができます。公共しせつの建てかえなどには、お金がかかるため、合併して、国や県からお金をもらい施設の充実を図りました。

3つ目は、生活圏の向上を図るためです。生活圏の向上により、菊川町と小笠町をつなぐ道路が整備され、2つの町が行ききしやすくなりました。

また、コミュニティバスが走るようになり、お年よりの買い物や、病院のいききが楽になりました。

ところで、どのようにして合併は決められるのでしょうか。

合併の決め方は主に2つあります。

1つ目は、住民投票の実施です。合併した方がいいか、合併しない方がいいか、住民に投票してもらって決めます。過去に住民投票を実施して合併したところは、愛知県一宮市^{いちのみやし}、埼玉県鴻巣市^{こうのすし}などがあります。住民投票を実施して合併に至らなかったところは、福島県棚倉町^{たなぐらまち}、塙町^{はなわまち}、鮫川町^{さめかわまち}などです。

2つ目は、住民説明会の実施です。住民説明会をしたのち、議会で議論し、合併するか、しないかを決めます。菊川市は、この方法で合併を進め、菊川市が誕生しました。

しかし、合併は良い面ばかりではありません。合併すればするほど市役所が遠くなっていき、市役所の周りだけ栄えてしまい、市役所から離れている所がさびれてしまう恐れがあります。

今、日本の人口は減り続けています。そこで、少しでも菊川市の人口を増加させるために若い人に移住してもらったり、子育てをしやすくしたりして、魅力的なまちにすると、よりよくなると思います。私は、今まで以上に働く場所が確保できて、交通の便が良い、自然豊かなまちであり続けてほしいです。

自然をみんなが楽しめる公園づくり

加茂小学校 6年 湯浅 陸

1 テーマ

自然をみんなが楽しめる公園づくり

2 現状

- ①菊川市の緑が5年ごとに56パーセント、55.8パーセント、55.5パーセントと少しずつ減ってきています。
- ②市の北側、東側に森が多く、南側、西側に田畑が多いと分かりました。
- ③市の中で堀之内、加茂、六ごうや平川地域、おがさに住宅が多いです。
- ④南側の土地に公園が少ないです。
- ⑤住宅地の近くに街区公園は多いけど、運動公園、総合公園がないと思いました。
- ⑥近くに自然と親しめる公園が少ないです。
- ⑦自然がある土地のかたよりがある。自然にふれる機会が少ない人がいると気づけました。
- ⑧風ち公園が南に多く、北に少ないと思いました。

3 問題点

- ①街区公園を全部グランドゴルフで使っている人がいて、ぼくらが入りづらくなっています。
- ②市の北側、東側に森があるけれど、近よりづらく、親しみづらいです。
- ③南に公園が少ないのが問題点だと思いました。

4 解決策

①「グランドゴルフで使われていて公園が使いづらい」の解決方法

市が管する公園をつくり、そこでルール、使用時間を決め、みんなが楽しめる公園をつくります。

具体的に何をするか

- ・市で利用者のことを考えた時間帯を決めます。
- ・同じ人がずっと利用し続けることをふせぐために一日の予約回数を決めます。

②「森に近よりづらく親しみづらい」の解決方法

森の中に道を作り、中から自然を見たりできるようにします。歩きながら自然に親しめて緑にふれられます。

具体的に何をするか

- ・市の北側、東側の森の両はしと、まん中に入出入りする場所と、ちゅう車場をつくり利用しやすくします。
- ・木は切るのではなく、木を日かげが少ない公園に移植するといいと思います。
- ・安全のため街灯をつけることも大切です。

③「南に公園が少ない」の解決方法

耕作放棄地を市で借り、公園として活用する。そうすると耕作放棄地が減り公園が増えると思います。

具体的に何をするか

・川が多く水かさが増え、しん水することがあるから、公園を高くして、ひなん用のちゅう車場を作ります。

引用文献

- 1 菊川市都市計画マスタープラン（平成 23 年 12 月）
- 2 第二次菊川市国土利用計画 資料編（平成 30 年 3 月）

お礼の言葉

都市計画課と議員のみなさん、ご指導ありがとうございました。

耕作放棄地をなくして環境の良い菊川市へ

小笠北小学校 6年 中村健伸

僕の祖父母は畑で作物を育てていますが、数年前にお茶畑を止めてしまいました。お茶畑をやっていた土地は、他の農家の方へ渡しましたが、その土地はしばらくの間、耕作放棄地でした。注意して見てみると、家の周りや通学路などに耕作放棄地がいくつかあります。耕作放棄地には虫が多くいたり、ポイ捨てのゴミが多かったりと生活するのに良くないものがたくさんあります。農林課に話を聞いてみると、2023年7月の菊川市の耕作放棄地の面積は、202.8ヘクタールあるそうです。また、2021年から2022年では、19.36ヘクタールも増えているそうです。増えている理由として、農家の後継者がいなくて、農家が減っていることです。5年おきに行っている農業センサス報告書の農業経営体の数は、2010年は1667体に対して、2020年は947体と、10年間で約半分になっています。農家が少なくなると耕作放棄地が増えていきます。

そこで、耕作放棄地を減らすために2つの提案をします。

1つ目は、ポスター標語コンクールです。市民に耕作放棄地についての現状を話し、標語を作ってもらいます。標語を作ることで耕作放棄地への意識が変わり、ゴミのポイ捨てが減ると思います。そして、良かった標語は環境推進課が設置している看板にその標語を記すといいと思います。

2つ目は、興味を持ってもらえる農業づくりです。先ほども言った通り、農家の後継者がいなくて、耕作放棄地が増えているのが現状です。農業に興味を若い人に持ってもらうことにより、耕作放棄地を減らせると考えました。具体的には2つあります。1つは、農地レンタルです。市が空いている農地を整備して数年間貸し出します。菊川市には農業を始めたくてもどうすればよいか分からない人がたくさんいると思います。そんな人たちに農地レンタルなどで農業をサポートします。実際に農業を体験して農業の楽しさ、大変さを感じてもらうことで農家になってもらえることが考えられます。もう1つは、農業市場です。菊川市の農家の方が出店をして、農作物を買ってもらいます。買った人が農作物のすごさやおいしさを感じてもらい、少しでも農業に興味を持ってもらって農業と向き合うきっかけになってくれると思います。また、市場では農業説明会などを開くのもいいと思います。この2つを実現して、農業に興味を持ってもらい、農家になって耕作放棄地が減ってくれるとうれしいです。

このように市民に耕作放棄地や農業について興味を持ってもらい、耕作放棄地を減らしていきます。耕作放棄地を減らすことで、ゴミなどが減り、きれいな町が実現します。市民も快適な市を願っているはずで、耕作放棄地を減らして快適に生活しましょう。

最後に、農林課や環境推進課、議員のみなさん、ご協力いただいております。

ゴミのポイすてをなくすために

六郷小学校 5年 細野希乃花

わたしは、総合のじゅ業で、かんきょう推進課の人たちがきて、話をきいたときに、食品ロスやゴミのポイすてについて聞きました。そのときに、ゴミのポイすてに興味をもちました。なぜなら、外国人の人が、ゴミひろいをしているのを見て、菊川市の人にも、もっとゴミひろいに興味をもってほしいからです。

そこで、かんきょう推進課の人に質問をしました。市内では、目だたないところにゴミをすてていることが多いそうです。市民の中では、西方のスリーハートクラブのだんたいの人たちや、個人でのゴミひろいをして下さっている人もいます。それらのしょぶんのお金は、市の予算からだしているそうです。また、10月31日に、10人くらいでハロウィンのかそうをし、ゴミひろいをしているそうです。12月23日は、サンタクロースやトナカイなどのかそうをして、50人くらいのさんか者による、ゴミひろいをしているそうです。また、市のしょく員だけでなく、その中には内田の人たちもさんかしているそうです。

その他にも、加茂小学校の6年生をたいしょうに、プロギングをしています。プロギングとはスウェーデン語の「ひろう」と英語の「ジョギング」を合わせたゴミひろいスポーツです。令和3年に、加茂小学校の6年生がはじめてから、令和4年には、内田小学校と横地小学校もじゅ業中にさんかしているようです。それによって、あきかん、たばこなどのポイすてがあることが分かりました。また、草がおいしげっているしげみ、低木のそばや、川の近くなどにもゴミがすてられています。それらとは別に、山の中の人目が見つからないところには、大きなゴミや家電せい品などもすてられています。このような、不法とうきは、5年以下のちようえき、それか1千万円以下のばっ金がかせられます。

これらをふくめ、わたしは、3つのてい案をしたいと思います。

1つ目は、草かりをすることです。草かりをすることによって、ゴミをすてにくいかんきょうになると思います。

2つ目は、市内の学校でプロギングを広めることです。楽しみながらゴミひろいをしたいです。

3つ目は、市民をたいしょうに、プロギングをしたいです。プロギングで各コースを決め、きそい合いながらゴミひろい、さんか者のやる気を高めます。

このイベントをすることで、ゴミのポイすてがへることが大切だと思っています。

以上で、わたしの発表を終わります。

お茶のイベントをふやすと・・・

六郷小学校 5年 堀川紗矢

わたしがお茶をえらんだ理由は、静岡の中でも、菊川がお茶に関わりが深く、なによりお茶は、おいしく、えいようがたくさんあっていいなと思ったからです。しかし、お茶の良さやおいしさ、菊川茶が有名ということを知らない人が多いです。

その人たちに、お茶の良さを知ってもらうために、イベントやテレビで、みりよくをはっしんしているところがあります。その他にも、おかしの中にお茶をいれて、のむのではなく、食べるほうで知ってもらおうというお店があります。テレビでは、芸能人の方が、お茶のおかしを売っているお店に行ったりして、みている人に「これはおいしそうだな」、「このお店はどこにあるのだろう」など、興味をもってもらえるようにしています。

ほかにも、おすもうの人のほかに菊川茶をいれて、少しでもみんなに知ってもらえるようにがんばっています。イベントをやるにあたってのメリットは、どのくらいの人が集まるのかや、おとしよりから子どもまで、みんなが、イベントに参加できているかや、満足度、楽しさをスマホのアンケートなどで調べて、次につなげていけば、イベントがレベルアップしていくことです。

お茶のイベントをもっとふやして、いろいろなものをいれて、イベントに興味をもつものをみつけられるかもしれません。それによって、おとしよりから子どもまで、年れい差をなくすことができると思います。

イベントで、菊川茶をプレゼントするといいいのではないかなと思いました。イベントをする場所も、お茶のことをあまり知らないちいきでやると、あまり知らない人たちが、菊川茶をよく知って、いっぱい飲んでもらいたいです。

イベントで、お茶のれきしがあるところで、親子でお茶クイズなど、いろいろなイベントをふやしたらいいと思いました。

イベントをやったのこうかは、これまでにどうやって調べているのですか。

菊川茶で菊川市を有名に

菊川東中学校 1年 森田穂希

私は、菊川茶を「飲む」だけでなく、視点を変え、「食べる」方向にし、お茶を広めることで菊川市を活性化できると考えました。このテーマに決定した理由は、今までは、「飲むためのお茶」として愛されていましたが、近年では、お茶の消費量、生産量等が昔より下がっています。しかし、「食べるお茶」に視点を変えると、菊川茶の活用の幅が広がり、徐々に菊川茶の活気を取り戻す、ゆいいつの方法ではないかと思ったからです。

今、「飲むお茶」での課題としては、3つあります。1つ目は、菊川市発祥である菊川茶の認知度が低いこと、それにともなって、2つ目は、収益が減ってお茶の生産者も減り、その結果、勢いがなくなってきたこと、3つ目は、お茶の産出額、生産量が鹿児島県に追いつかれているという課題です。

課題に対する質問の答えをお聞きしたいと思います。

- ①菊川市内でも、まだ菊川茶の認知度が低いと感じているが、認知度を上げていくにはどんなことをしていくか？
- ②菊川茶の需要が下がってきたことで、売り上げが減り、生産者も減っていると感じているが、菊川茶の需要以外に原因があるのならば、勢いをどう上げていくか？また、生産者を減らさないためにどんな対策をしていくのか？
- ③鹿児島県（+佐賀県）と比べ、どのようなところを魅力と考え、菊川市として鹿児島に勝ちたいか？

これらの課題を改善し、より良い菊川市にするためには、若い人を中心として現代の流行にのったり、実用性が高く、伝承しやすい商品を開発することが良いと思いました。

例えば、菊川茶を加工して、ふりかけや、お茶と塩を混ぜたハーブソルト、まっ茶ラテという形で、粉まつや細かくした茶葉を利用する商品です。ふりかけやハーブソルトを日常に取り入れることで、お茶のふん囲気やおいしさを手軽に味わえます。

また、お菓子やパンの生地に菊川茶を混ぜたりする商品です。実際に学校給食で「お茶パン」が出されていて、このお茶パンを、色々な地域で生産して販売したら、菊川茶が広まるのではないかと考えています。

- ④私は、菊川茶を使った食べる商品を増やし、いろいろな形で市内の人、市外の人問わず広めていきたいと考えているが、これに対し、どう思うか？

このように、私は菊川茶を「飲む」だけでなく、視点を変え、「食べる」方向にし、お茶を広めていくことで菊川市を活性化できると考えました。

この取り組みを大きくし、実行することができれば、菊川市の活気を取り戻し、より良く明るい未来になるのではないのでしょうか。

菊川茶には、健康や美容、リフレッシュに効果があり、商品化したもので菊川茶の認知度を上げたり、たくさんの人に飲んでもらいたいです。

